

# 支部活動紹介

## 2022 年度経営情報学会九州・沖縄支部 & 組織ディスコース研究部会 合同研究発表会の開催報告

九州・沖縄支部 支部長 四本雅人（よつもと まさと）  
長崎県立大学経営学部

### 1. はじめに

経営情報学会九州・沖縄支部と組織ディスコース研究部会の合同研究発表会が2023年3月4日（土）に福岡の西南学院大学で開催されました。経営情報学会の支部には、東海支部、関西支部、九州支部がありましたが、2021年11月に私が九州支部の支部長に就任し、名称が「九州・沖縄支部」へと変更になりました。当時、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、支部としての活動がなかなかできなかったのですが、感染拡大が落ち着きを見せたことで、行動規制が緩和され、ようやく対面での研究発表会の開催が実現しました。

とは言え、コロナ禍が完全に収まったわけではなく（新型コロナウイルス感染症は2023年5月8日より感染症法上で5類感染症へと移行になりましたが）、また、それまでの九州支部の活動もそれほど活発ではなかったため、九州・沖縄支部の単独で研究発表会を開催した場合、報告者や参加者が集まるのかという懸念がありました。そこで、経営情報学会の組織ディスコース研究部会に声を掛け、合同研究発表会の開催へと至りました。ちなみに、私は組織ディスコース研究部会の幹事を担当しておりまして、九州・沖縄支部の副支部長である清宮徹先生（西南学院大学）も組織ディスコース研究部会のメンバーです。

### 2. 合同研究発表会

合同研究発表会の当日には、全国から20名のご参加がありました。また、本学会の役員の総務担当理事・松下倫子先生、組織担当理事・浅野浩美先生、森田裕之先生、広報担当理事・寺本直城先生、編集担当理事・深見嘉明先生が応援に来てくださいました（深見先生と寺本先生は報告者でもありました）。

今回の経営情報学会九州・沖縄支部と組織ディス



写真1 合同研究発表会の会場入口



写真2 合同研究発表会の様子

コース研究部会の合同研究発表会では、以下の研究報告が行われました。

**第1報告「DXを阻む日本の情報ネットワーク生態系：『技術 (Technology)』なき『技 (Techniques)』の産業組織」**

報告者：河又貴洋（長崎県立大学）

コメンテーター：藤井資子（熊本県立大学）



写真3 第1報告の河又先生とコメントータの藤井先生

**第2報告**「高信頼性組織（HRO）に関する一考察：福島第二原子力発電所を事例として」  
 報告者：河野佑輔（明治大学大学院生）  
 コメントータ：高木俊雄（昭和女子大学）



写真4 第2報告の河野佑輔さん

**第3報告**「珈琲焙煎プロファイルデータによる製品開発と組織形成」  
 報告者：深見嘉明（東京理科大学）・中村暁子（北海学園大学）・福田大年（札幌市立大学）・寺本直城（拓殖大学）  
 コメントータ：高橋正泰（明治大学）

第1報告の河又先生（長崎県立大学）は、スウェーデン・ヨーテボリのチャルマース工科大学での国外長期研修における調査研究をベースにした研究報告でした。スウェーデンで取られている技術文化の産

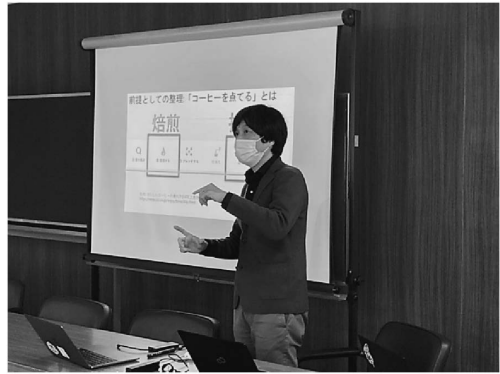


写真5 第3報告の深見先生

業化戦略との比較において、バブル経済崩壊後の失われた30年から脱却できない日本企業、ひいては、日本の社会システムの課題や問題点を技術論や文明論の観点から鋭く指摘されていました。

第2報告の河野さん（明治大学大学院生）は、2011年にレベル7のシビアアクシデントを起こした福島第一原子力発電所と同じ震災を受けながらも、原発事故を回避することができた福島第二原子力発電所の対応に注目し、それをワイク&サトクリフ（2001, 2015）が提唱する高信頼性組織（High Reliability Organization：HRO）研究と修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（M-GTA）の観点から分析した研究報告でした。また、当時の福島第二原子力発電所の増田所長の語りをディスコース分析し、非常に興味深い考察が行われていました。

第3報告の深見先生（東京理科大学）たちの研究報告では、珈琲の焙煎技術に着目し、「嗜好品を安定供給できる体制（組織・超組織）が確立される上で、情報技術がどのように活用されているのか」が考察されていました。具体的には、焙煎プロセスの電子制御、焙煎プロファイルデータの公開、そして、店舗のブランディングと製品開発において、カリスマ創業者の技術をどのように組織内で共有可能か、丸山珈琲と紅櫻珈琲で行われた調査から技術伝承についての考察が行われていました。

いずれの研究報告も大変興味深いものばかりで、質疑応答では所定の時間をオーバーするほど、活発にディスカッションが展開されていました。

合同研究発表会終了後は、西南学院大学の近くの

「ひなっ子」に移動し、懇親会を開催しました。福岡は鳥料理が有名で、「ひなっ子」では焼き鳥と水炊きを堪能しました。美味しかったです。

### 3. さいごに

こうして、2022年度経営情報学会九州・沖縄支部と組織ディスコース研究部会の合同研究発表会は盛況のうちに幕を閉じることができました。特に、九州・沖縄支部の再始動のときからサポートをしてくださった、本学会の組織担当理事・浅野先生、森田先生、富樫先生には厚く御礼を申し上げます。ま

た、会場を提供していただき、さまざまな手配もしていただいた九州・沖縄支部の副支部長の清宮先生にも感謝申し上げます。

2023年度も2月か3月頃に九州・沖縄支部の研究発表会を開催したいと考えております。今回は九州・沖縄支部の会員の方々の参加が少々少なかったもので、次回は多くの方々にご参加いただけると幸甚です。次回の研究発表会の詳細が決まりましたら、本学会のメールマガジンにてご案内致します。

九州・沖縄支部への問い合わせ先 \_\_\_\_\_  
br.kyushu-okinawa@jasmin.jp